

令和8年度 第2回 高知支部評議会

令和8年度 支部保険者機能強化予算について



2026年10月22日

全国健康保険協会高知支部

令和8年度 支部医療費適正化等予算 整理表

分野	区分	取組名	事業内容	経費
医療費適正化 対策経費	継続	高知県内調剤薬局におけるジェネリック医薬品使用促進広報の取り組み	2. GE・バイオ	1,100千円
	継続	若年層のいる家庭に対する医療費適正化啓発	1. 適正受診	732千円
	医療費適正化対策経費 計			1,832千円
広報・意見 発信経費	継続	上手な医療のかかり方に関する啓発	複合（広報）	5,080千円
	継続	納入告知書同封チラシ	複合（広報）	1,721千円
	継続	経済団体の会報誌を利用したインセンティブ制度の普及促進 広報	インセンティブ	404千円
	新規	医療機関配布用のポスターの作製	その他（広報）	109千円
	広報・意見発信経費 計			7,314千円
合計				9,145千円
予算枠				9,145千円

令和8年度 支部保健事業予算計画 整理表

分野	区分	取組名、予算名	事業内容	経費
健診経費	—	健診機関による事業者健診データ提供に係る新規委任状取得の委託費	委任状取得費（健診機関）	44千円
	—	健診機関及び事業主へ事業者健診データの作成に要する費用（システム払いができない分）の支払い	データ作成等経費（健診機関・事業主）	39千円
	継続	〔事業者健診の結果データの取得〕 事業者健診データ提供依頼書及びデータ取得の外注	外部委託勧奨	5,505千円
	継続	（集団健診） 特定健診集団健診の実施（10月～3月開催）	大型施設等（被扶養者）	3,208千円
	継続	（健診受診勧奨） 令和9年度健診年次案内用受診勧奨チラシ作製	パンフレット作成	1,916千円
	継続	（健診受診勧奨） 圧着リーフレット等を用いた特定健診の受診勧奨	被扶養者勧奨	461千円
	健診経費計			11,173千円

令和8年度 支部保健事業予算計画 整理表

分野	区分	取組名、予算名	事業内容	経費
保健指導 経費	—	医師謝金	—	26千円
	—	保健指導用パンフレット作成等経費	—	250千円
	—	保健指導用事務用品費（測定用機器類等）	—	173千円
	—	保健指導用図書購入費	—	100千円
	—	公民館等における特定保健指導	—	30千円
	新規	〔保健指導利用勧奨経費〕 特定保健指導該当者への健診前通知事業	委託勧奨（指導・被保険者）	1,056千円
	保健指導経費 計			1,635千円
重症化予防 事業経費	継続	〔未治療者受診勧奨〕 生活習慣病未治療者に対する受診勧奨業務	二次勧奨	3,509千円
	継続	〔未治療者受診勧奨〕 生活習慣病予防健診結果における高血圧・高血糖者 への受診勧奨	0次勧奨	3,630千円
	—	〔重症化予防対策〕 糖尿病性腎症透析予防強化プログラム（保健指導） 業務委託	プログラム	1,848千円
	重症化予防事業経費 計			8,987千円

令和8年度 支部保健事業予算計画 整理表

分野	区分	取組名、予算名	事業内容	経費
コラボヘルス 事業経費	継続	(コラボヘルス事業) 健康経営にかかる事業所への情報提供		1, 219千円
	継続	(コラボヘルス事業) 健康経営にかかる事業所への情報提供②		400千円
	継続	(コラボヘルス事業) 「高知家」健康企業宣言パンフレットの作成		271千円
	継続	(コラボヘルス事業) オンライン健康講座の開催		1,870千円
			コラボヘルス事業経費 計	3, 760千円
その他 の経費	継続	〔その他の保健事業〕 各種媒体を活用した糖尿病発症予防に関する広報	広報関係	823千円
	—	保健事業実施計画アドバイザー経費	保健事業実施計画アドバイザー	98千円
			その他の経費 計	921千円
合計				26,476千円
予算枠				26,476千円

具体的な実施計画 ～医療費適正化～

課題解決型

事業名	【継続】 高知県内調剤薬局におけるジェネリック医薬品使用促進広報の取り組み		予算額	R7年度	1,870 千円
				R8年度	1,100 千円
事業の概要	県内のジェネリック使用率は改善傾向にあるものの、地域差や医療機関ごとのばらつきがみられ、引き続き利用促進が求められている。こうした状況を踏まえ、薬剤師会と連携し、県内調剤薬局においてジェネリック医薬品の使用促進に向けた啓発広報を実施する。広報媒体については、啓発用の紙ケース（絆創膏入り）を作成する。ジェネリック医薬品の利点や協会けんぽのメッセージを掲載し、加入者に必要な情報を自然に伝える。		期待・効果	・加入者がジェネリック医薬品の仕組みやメリットを理解しやすくなる ・薬剤師に相談するきっかけが生まれ、納得した薬剤選択につながる ・ジェネリックの利用が進むことで、薬剤費の適正化に寄与する ・協会けんぽの取り組みが自然な形で伝わり、認知度と信頼性が高まる	
実施状況	今年度は、ジェネリック医薬品の使用促進に向けた啓発用として、絆創膏入り紙ケースを作成（現在調達中）。ジェネリック医薬品の使用促進に加え、協会けんぽの認知度向上にもつながるデザインとした。次年度も引き続き、高知県薬剤師会と連携・協力しながら、使用促進に向けた啓発活動を実施する。				継続方針
					○

○ 継続 △ 検討中 × 継続しない

具体的な実施計画 ～医療費適正化～

課題解決型

事業名	【継続】 若年層のいる家庭に対する医療費適正化啓発		予算額	R7年度	880 千円
				R8年度	732 千円
事業の概要	若年層においては、健康や医療費に関する知識や意識が十分でないことから、家庭全体で医療の適正利用を理解し、日常の健康管理につなげる取り組みが求められている。このような背景を踏まえ、若年層のいる家庭を対象に、医療費適正化に関する啓発を行うため、高知市役所と連携し、市内の小中学校を通じて啓発チラシを配布する。	期待・効果	・若年層から医療リテラシーを高めることで、将来的な医療費抑制に寄与する ・学校を経由した配布により、多くの家庭へ確実に情報を届けられる ・高知市との連携による発信で信頼性が高まり、啓発内容が受け入れられやすい		
実施状況	・高知市役所および高知県薬剤師会との連名により、医療費適正化啓発のリーフレットをR8.7.10に高知市内の各小中学校へ配布した。（小学生：約13,800名（41校）、中学生：約5,400名（17校））				継続方針
					○

○ 継続 △ 検討中 × 継続しない

具体的な実施計画 ～医療費適正化～

課題解決型

事業名	【継続】 上手な医療のかかり方に関する啓発		予算額	R7年度	1,854 千円
				R8年度	5,080 千円
事業の概要	「上手な医療のかかり方」に関する県民の理解促進について、WEB広報、TVCM、イベント出展などを組み合わせ、県民に分かりやすく情報を提供する。 また、LINE公式アカウントの友だち獲得施策を実施し、日常的な情報発信の基盤を強化することで、継続的な啓発につなげる。	期待・効果	・適正受診が広がり、救急・医療機関の負担が軽減される ・かかりつけ医の定着が進み、健康管理や初期対応が円滑になる ・医療リテラシーが向上し、受診判断の迷いが少なくなる ・LINE登録者の増加により、継続的に健康情報を届けられる体制が充実する		
実施状況	10月から翌年1月にかけて、WEB広告およびTVCMを実施する。WEB広告については、昨年度も活用したYouTubeやLINEに加え、新たにSmartNewsおよびAmazonプライムビデオを活用する。また、LINEについては、友だち獲得施策を実施し、友だち数の増加を図る。さらに、10月から翌年3月までの計6回、委託業者に配信記事を作成させることで、発信する情報の充実も図る。				継続方針
					○

○ 継続 △ 検討中 × 継続しない

具体的な実施計画 ～医療費適正化～

定型的事業

事業名	【継続】 経済団体の会報誌を利用したインセンティブ制度の普及促進広報		予算額	R7年度	520 千円
				R8年度	404 千円
事業の概要	事業主が目にする経済団体の会報誌などに作成したチラシを同封する。	期待・効果	健診や特定保健指導、要治療者の医療機関受診等、各評価指標（5項目）の今後の取り組み強化に繋げる。		
実施状況	加入者および事業主に対し、インセンティブ制度の仕組みや意義の理解促進を図るため、経済団体を通じて丁寧な周知広報を行った。配付部数は約 11,000 部。				継続方針
					○

○ 継続 △ 検討中 × 継続しない

具体的な実施計画 ～保健事業～

課題解決型

事業名	【継続】 事業者健診データ提供依頼書及びデータ取得の外注		予算額	R7年度	6,974 千円
				R8年度	5,505 千円
事業の概要	- データ取得実績のある業者に勧奨を委託し、取得率向上を図る。 - 勧奨対象事業所：520事業所 約16,000人	期待・効果	- 事業者健診データ取得件数（取得率）の向上、ひいてはインセンティブの指標である特定健診等の受診率向上に寄与する。 - データ取得者に対する保健指導案内による保健指導実施率の向上に寄与する。		
実施状況	- 勧奨事業所対象：420事業所 14,931名分（R8.5.22提供） - 目標値：提供依頼書 80事業所、健診データ 6,000件 - 実績：提供依頼書 52事業所、健診データ 854件（R8年9月末時点） ※現在、データ納品数は少ないが、勧奨が一巡し10月以降に増加する見込み。				継続方針
					○

○ 継続 △ 検討中 × 継続しない

具体的な実施計画 ～保健事業～

課題解決型

事業名	【継続】 特定健診集団健診の実施（10月～3月開催）	予算額	R7年度	3,101 千円
			R8年度	3,208 千円
事業の概要	・年度後半（10月）から年度末にかけ、高知県内各地で未受診者を対象とした特定健診とがん検診同時実施の集団健診を開催する。 ・高知県内に居住する未受診者を対象とし、特定健診と各種がん検診を同時に実施できる健診実施機関に委託して実施する。 ・健診内容を充実させ、受診者に魅力を感じてもらうことで受診率向上を図る。 ・高知市中心部では、集客が見込めるショッピングモール等において、それ以外の地区では地域の保健福祉センターを活用するなど、地域住民が受診しやすい環境で実施する。	期待・効果	がん検診との同時実施による健診の利便性及び年末・年度末最後の未受診者対策により、特定健診受診率の向上に寄与する。	
実施状況	・予定：令和8年9～10月 イオンモール（1会場4日程） 令和8年12月 東部地区（2会場2日程）、南国地区（1会場1日程） 令和9年1～3月 高知市保健福祉センター、セリーズ、幡多地区等（9会場13日程）			継続方針
	※9月以降集団健診開始。特定健診とがん検診の同時実施により受診者増を、当日保健指導実施により指導利用者増を図る。			○

○ 継続 △ 検討中 × 継続しない

具体的な実施計画 ～保健事業～

課題解決型

事業名	【継続】 圧着リーフレット等を用いた特定健診の受診勧奨		予算額	R7年度	1,279 千円
				R8年度	461 千円
事業の概要	・圧着リーフレットを使用して、特定健診の受診勧奨を行い、受診率向上を図る。 ・リーフレットの内容は、特定健診の受診の流れ、健診の概要、市町村の集団健診の日程を周知して受診につなげる。 ・委託業者には、対象者データを提供の上、圧着ハガキの作成、発送先の住所、氏名の記載および発送までを委託する。 ・通知予定数：約9,000通	期待・効果	特定健診受診率の向上に寄与する。		
実施状況	実績：令和8年7月15日 市町村集団健診再勧奨 8,269件発送 ※令和8年度は居住地での受診を促すため、市町村集団健診の再勧奨を実施。効果検証を予定。 ※令和9年度より、 <u>小規模事業所の被保険者への生活習慣病予防健診等の受診勧奨を追加実施予定。</u> 前年度未受診者で、「事業所受診率40%未満」かつ「対象者数10人未満」の事業所の被保険者個人（約6,000人）宅宛に、県内各健診機関及び巡回健診の特色やサービスを紹介するパンフレットを送付する。				継続方針
					○

○ 継続 △ 検討中 × 継続しない

具体的な実施計画 ～保健事業～

課題解決型

事業名	【新規】 特定保健指導該当者への健診前通知事業	予算額	R7年度	— 千円
			R8年度	1,056 千円
事業の概要	・特定保健指導該当者へ、次回の健診前（3か月前）に生活習慣の振り返り及び減量目標値等を記載した通知（圧着はがき）を送付することで、特定保健指導該当者が健診日までに自ら行動変容を起こし、これにより特定保健指導レベルの改善（例_積極的・動機づけ支援から非該当へ、積極的支援から動機づけ支援へ）につなげるとともに、特定保健指導該當時の利用拡大を促す。 ・通知予定数：約12,500人	期待・効果	・特定保健指導レベルの改善（例_積極的・動機づけ支援から非該当へ、積極的支援から動機づけ支援へ）を促す。 ・特定保健指導該當時の利用拡大に寄与する。	
実施状況	・実績：通知送付者6,029人 （対象：前年度8月～1月受診者、令和8年9月末時点） ・今後：送付対象者の今年度健診結果の改善状況より効果検証	 通知ハガキのイメージ		継続方針 ○

○ 継続 △ 検討中 × 継続しない

具体的な実施計画 ～保健事業～

課題解決型

事業名	【継続】 生活習慣病未治療者に対する受診勧奨業務	予算額	R7年度	3,722 千円
			R8年度	3,509 千円
事業の概要	・血圧・血糖・脂質検査において要治療と判定されながら医療機関を受診していない者に対し、医療機関への受診勧奨を行う。 ＜委託内容＞ ・対象者への受診勧奨文書及び送付用封筒の作成、封入封緘、発送業務。 ＜勧奨手順＞ ①本部勧奨翌月に支部で対象者を選定し、委託機関にデータ送付 ②委託機関にて、受診が必要な検査項目をわかりやすく表示した勧奨文書に「受診状況のおたずね」、「返信用封筒」を同封し送付。1週間以内の返信を依頼する。回答書は支部あてとする。 ・通知予定数：5,500件	期待・効果	生活習慣病の重症化を防ぎ、医療費の適正化に繋がる。	
実施状況	・実績：文書勧奨 2,425人 回答数 744人（回答率 30.7%）（R8年8月勧奨まで） ※令和7年度同事業の回答率は29.8%。わかりやすい文面への変更等による反応向上と考えられ、受診率増を期待。 なお、「未受診」回答者には、支部指導者による最終勧奨（文書・電話）を実施。			継続方針
				○

○ 継続 △ 検討中 × 継続しない

具体的な実施計画 ～保健事業～

課題解決型

事業名	【継続】 生活習慣病予防健診結果における高血圧・高血糖者への受診勧奨	予算額	R7年度	3,346 千円
			R8年度	3,630 千円
事業の概要	健診当日、生活習慣病予防健診実施機関から、高血圧・高血糖者に対して医療機関受診を勧める ・委託機関：生活習慣病予防健診実施機関のうち受託を希望する機関 ・勧奨実施者：医師、看護師、保健師 ・勧奨方法：対面にて、勧奨資材を用いて5分以上の受診勧奨をする ・効果判定：勧奨後の受診状況をレセプトで確認する ・対象者：2,000人 ・費用：1件当たり1,500円（税抜）	期待・効果	生活習慣病の重症化を防ぎ、医療費の適正化に繋がる。	
実施状況	・令和8年度契約：11機関 ・実績：785人（R8年8月勧奨まで） ・KPI（健診受診月から10ヶ月以内の医療機関受診率）：受診率33.8%（37位・全国平均35.3%）（R7.4～8健診、主に8年度勧奨） ※健診当日の受診勧奨は、医療機関への受診に結び付きやすいと思慮。 ※令和9年度からは、<u>LDLリスク者（高脂質）</u>にも受診勧奨を実施する予定。			継続方針
				○

○ 継続 △ 検討中 × 継続しない

具体的な実施計画 ～保健事業～

課題解決型

事業名	【新規】 糖尿病性腎症透析予防強化プログラム（保健指導）業務委託		予算額	R7年度	— 千円
				R8年度	1,848 千円
事業の概要	・高知県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに則り、治療中のコントロール不良者などに対し医療機関と連携した重症化予防事業を行う。 ・専門的知識と経験を有する事業者による委託で実施する。 ・予定数：12名	期待・効果	・プログラム利用者の透析導入時期の延伸によるQOLの維持、医療費の削減を図る。		
実施状況	・実績：業務委託による実施体制を構築するが、参加0名（令和8年9月末時点） ・原因：医療機関におけるプログラム参加希望者がいないことによる ・対応：高知県より医療機関へ訪問説明を実施中 ・今後：参加人数により委託より支部実施への変更を検討中				継続方針
					△

○ 継続 △ 検討中 × 継続しない

具体的な実施計画 ～保健事業～

課題解決型

事業名	【継続】 健康経営にかかる事業所への情報提供		予算額	R7年度	1,540 千円
				R8年度	1,219 千円
事業の概要	健康経営優良法人の認定を受けた事業所の取り組みを中心に、事例集を作成して配付する。 また「高知家」健康企業宣言をされた事業所に対しては、より詳しく健康経営について知っていただくための資料をあわせて配付する。	期待・効果	・成功事例の共有により、他事業所が取り組みやすくなる ・健康経営の実施内容が具体化し、事業所の行動につながりやすい ・協会けんぽの支援姿勢が可視化され、事業所との関係性の強化が期待される		
実施状況	健康経営に積極的に取り組む事業所へ取材を行い事例集を作成した。作成した事例集は健康保険委員が所属する約2,300事業所へ配布し、好事例の横展開を図った。				継続方針
					△

○ 継続 △ 検討中 × 継続しない

具体的な実施計画 ～保健事業～

課題解決型

事業名	【継続】 オンライン健康講座の開催	予算額	R7年度	1,500 千円
			R8年度	1,870 千円
事業の概要	代謝リスク（高血糖・脂質異常・高血圧等）の保有率が全国平均を大きく上回っていることに加え、飲酒習慣要改善者の割合も高い傾向にある。また、腰痛や肩こり、関節痛などの筋骨格系に関連する医療費が高く推移していることから、働く世代の健康リスクが多方面に存在している状況である。 このような背景を踏まえ、事業所の規模や立地にかかわらず参加しやすいオンライン健康講座を開催する。	期待・効果	・食事、運動、飲酒など生活習慣の改善が進み、代謝リスクの軽減に寄与する ・腰痛や肩こりなどの筋骨格系トラブルの予防が進み、生産性向上が期待できる ・従業員の健康意識が高まり、継続的な健康行動につながる ・健康経営の取り組みとして活用され、事業所の健康づくりがより推進される	
実施状況	・全体学習 2 回実施予定。（1回目が令和8年11月25日） ・個別学習については、今年度からVOD型（ビデオオンデマンド）とオンライン型のいずれかを選択できる方式とし、全15講座の中から希望する講座を受講することとしている。現時点で申し込みのあった事業所では、VOD型を選択するケースがほとんどとなっている。			継続方針
				○

○ 継続 △ 検討中 × 継続しない

具体的な実施計画 ～保健事業～

課題解決型

事業名	【継続】 各種媒体を活用した糖尿病発症予防に関する広報 (旧取組名：各種メディアを活用した糖尿病発症予防に関する広報)		予算額	R7年度	979 千円
				R8年度	823 千円
事業の概要	・過去の取組み：特設WEBサイト運用、WEB広告、チラシ・ポスターの事業所、自治体等へ配布した。 ・令和8年度取組：入口対策を主に20～30歳代に対し健康づくり啓発DMを送付する。 対象：25～35歳の被保険者約22,000人 ・各種媒体（メルマガ・LINE・納告チラシ）広報も継続する。	期待・効果	20歳から体重が10kg以上増加した場合に、そうでない人に比べて、2.2倍糖尿病を発症しているなどの研究報告を前提とした広報を展開し、加入者に体重増加の予防について意識づけすることで、代謝リスクの軽減などを期待できる。		
実施状況やその効果検証結果と継続理由	・令和8年度も引き続き特設サイトを運用。糖尿病発症予防に向けて各種媒体を活用して、適正体重の維持を呼びかける広報を展開。（メルマガ・LINE・納告チラシ・若年層へのDMによる広報を予定） ・25～35歳の被保険者約22,000人へ健康づくり啓発DMを送付予定				継続方針
					△

○ 継続 △ 検討中 × 継続しない